Hercules
Nippon New Market
ヘラクレス上場会社：8462

第9期　中間株主通信

［ 2006年4月 1日から
2006年9月30日まで ］

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社

FVC
Future Venture Capital Co.,Ltd

株主の皆様へ

2006年12月

代表取締役社長
川　分　陽　二

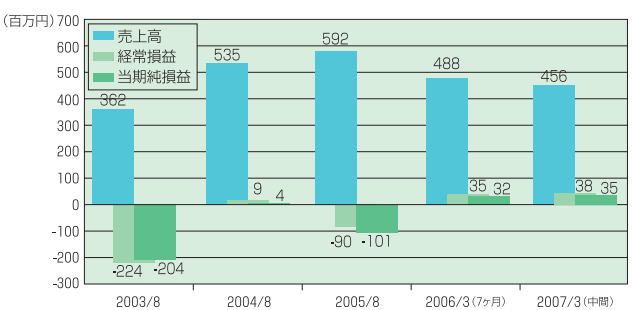
株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、当社の第9期中間期（2006年4月1日～2006年9月30日）が終了いたしましたので、ここに営業の概況をご報告申し上げます。

経営成績

当中間会計期間におけるわが国経済は、原油価格高騰が内外経済に与える影響等に留意する必要があるものの、企業収益が改善し、設備投資の増加や雇用環境の改善に広がりが見られることから、今後も緩やかに景気回復が持続するものと考えられます。国内株式市場においても、新規上場市場のIPO社数は高水準で推移しており、上半期終了段階では過去最高のペースとなっております。

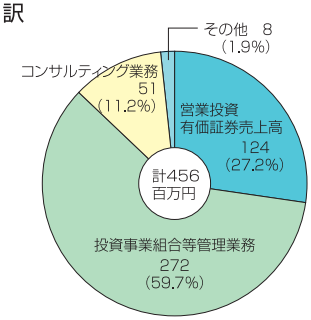
このような環境の中、当社の中間会計期間における状況は、営業投資有価証券売上高の増加により、売上高は456百万円、営業利益は41百万円、経常利益は38百万円、中間純利益は35百万円となりました。

売上高、損益の推移



収益の状況

売上高の内訳



■営業投資有価証券売上高

当中間会計期間における営業投資有価証券売上高は、夢の街創造委員会株式会社が大証ヘラクレスに上場したことにより124百万円となりました。

（注）当社の決算は9月を中間決算、3月を本決算としております。また、6月と12月をそれぞれ四半期決算としております。これに対し、当社が出資している投資事業組合の多くは、6月を中間決算、12月を本決算としております。このため、両者の決算月が重なる場合、投資事業組合の中間又は本決算で計上された営業投資有価証券に係る損益は、当社のその後最初に訪れる決算において、投資事業組合への当社の出資持分割合に応じた金額を計上させることにしております。

■投資事業組合等管理業務

当中間会計期間における投資事業組合等管理業務による売上高は、運営する投資事業組合の総額が増加したことにより、272百万円となりました。

■コンサルティング業務

当社は、コンサルティング業務として、投資顧問契約に基づく投資助言業務と地方自治体等に対するコンサルティングを行っております。当社に蓄積されたノウハウを提供することで、当中間会計期間は、51百万円の手数料収入を得ました。

■営業投資有価証券にかかる利益額 （単位:百万円）

	営業投資有価証券	
	上場有価証券	未上場有価証券
売 上 高	121	0
売上原価	8	117
(うち投資損失引当金)[前期までに計上済]	—	(116)

投資損失引当金新規繰入額	12
強 制 評 価 損	38

差引損益　A… 113　B… △0　C… 50

営業投資有価証券にかかる利益額

A）113百万円 ＋ B）△0百万円 － C）50百万円 ＝ 63百万円

財政状況

投資損失引当金の状況

当社は金融商品会計基準に基づき、投資先企業の実情を個別に勘案し投資損失引当金を計上しておりますが、当中間会計期間においては、前事業年度以前に積極的に引当金を計上した営業投資有価証券の売却を推進したため、投資損失引当金繰入額は△106百万円、当中間会計期間末における投資損失引当金残高は106百万円（前事業年度末212百万円）となりました。なお、投資損失引当金戻入額は繰入額から控除され、純額表示されております。

また、当中間会計期間末における営業投資有価証券に対する投資損失引当金の割合は4.7%（前事業年度末11.0%）となりました。

キャッシュフローの状況

当中間会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末より19百万円増加し、930百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の減少は、644百万円となりました。これは、主に投資事業組合に当社出資持分として715百万円出資したこと等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は、56百万円となりました。これは、支店・事務所の開設移転に伴う敷金・保証金を支払ったことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の増加は、721百万円となりました。これは、主に金融機関からの借入金を429百万円返済した一方、1,150百万円借入したことによるものであります。

営業の状況

投資事業組合の設立及び出資金総額の増額

当中間会計期間に新規に設立した投資事業組合は、「しずおかベンチャー育成投資事業有限責任組合」であります。また、既存の投資事業組合の募集金額が増加したことにより、当中間会計期間末現在の当社が管理・運営する投資事業組合は25組合、26,403百万円となりました。

■投資事業組合の設立

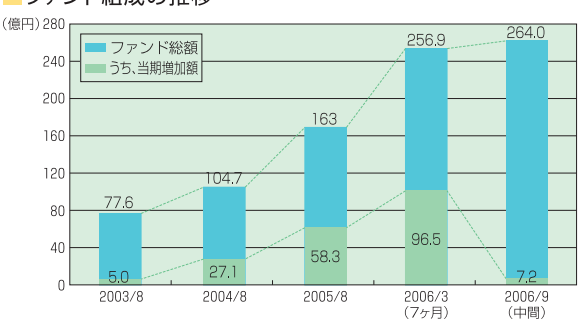
① 新規設立したファンド　（単位:百万円）

ファンド名	出資金総額	内　容
しずおかベンチャー育成投資事業有限責任組合	210（継続募集中）	地域型ファンド

② 出資金総額が増加したファンド　（単位:百万円）

ファンド名	増加した出資金額	出資金総額
アーバン・エフブイシー・ベンチャー育成投資事業有限責任組合	400	1,000
いわてベンチャー育成2号投資事業有限責任組合	105	290
合　計（2組合）	505	1,290

■ファンド組成の推移



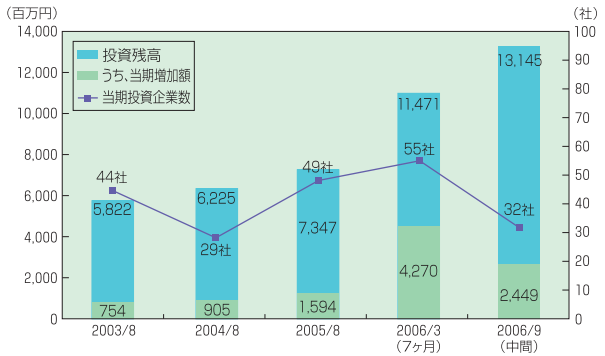
投資の状況

当中間会計期間において当社が管理・運営する投資事業組合からの投資の状況は、32社、2,449百万円となりました。

この結果、当中間会計期間末における投資残高は200社、13,145百万円となりました。

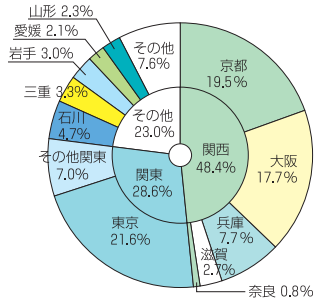
また、当社からの直接投資残高は、6社、302百万円となっております。なお、当中間会計期間における直接投資はございません。

投資実績

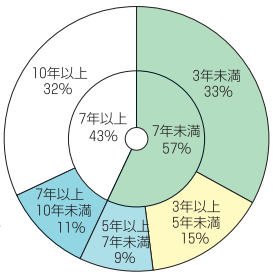


分類別投資先一覧　2006年9月末現在

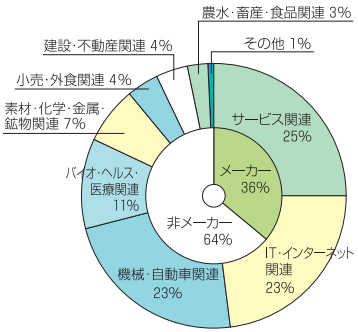
地域別(残高ベース)



設立年別(残高ベース)



業種別(残高ベース)



投資先企業の上場状況

当中間会計期間(2006年4月1日～2006年9月30日)

	会社名	上場年月	上場市場	主要業務	本社所在地
国内：2社	夢の街創造委員会(株)	2006年6月	大証ヘラクレス	インターネット利用の出前サイトの運営、出前サイト加盟店に対する業務支援	大阪府
	(株)パワーアップ	2006年7月	大証ヘラクレス	イタリア家庭料理「元祖にんにくや　ぱわーあっぷ」の全国展開	愛媛県

個別中間財務諸表

貸借対照表

(単位:千円)

科目	当中間期 2006年9月30日現在	〈参考〉前期 2006年3月31日現在
（資産の部）		
Ⅰ 流動資産	3,882,544	3,122,668
現金及び預金	1,659,672	1,335,877
営業投資有価証券	2,264,222	1,927,803
投資損失引当金	△106,206	△212,559
その他	65,445	72,339
貸倒引当金	△589	△792
Ⅱ 固定資産	149,543	114,545
有形固定資産	14,326	9,945
無形固定資産	826	826
投資その他の資産	134,389	103,772
資産合計	4,032,087	3,237,213
（負債の部）		
Ⅰ 流動負債	1,148,777	511,180
短期借入金	795,000	200,000
1年以内返済予定の長期借入金	121,100	99,768
未払法人税等	7,156	8,579
賞与引当金	32,180	24,251
その他	193,340	178,582
Ⅱ 固定負債	320,395	211,412
長期借入金	300,300	196,100
退職給付引当金	20,095	15,312
負債合計	1,469,173	722,593
（純資産の部）		
Ⅰ 株主資本	2,552,962	—
1 資本金	1,886,714	—
2 資本剰余金	601,165	—
(1) 資本準備金	601,165	—
3 利益剰余金	67,376	—
(1) その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	67,376	—
4 自己株式	△2,293	—
Ⅱ 評価・換算差額等	9,951	—
1 その他有価証券評価差額金	9,951	—
純資産合計	2,562,914	—
負債・純資産合計	4,032,087	—
（資本の部）		
Ⅰ 資本金	—	1,886,370
Ⅱ 資本剰余金	—	600,820
資本準備金	—	600,820
Ⅲ 利益剰余金	—	32,017
当期未処分利益又は当期未処理損失(△)	—	32,017
Ⅳ その他有価証券評価差額金	—	△2,294
Ⅴ 自己株式	—	△2,293
資本合計	—	2,514,620
負債及び資本合計		3,237,213

損益計算書

(単位:千円)

科目	当中間期 自 2006年4月 1日 至 2006年9月30日	〈参考〉前期 自 2005年9月 1日 至 2006年3月31日
Ⅰ 売上高	456,886	488,510
Ⅱ 売上原価	274,629	291,223
売上総利益	182,259	197,286
Ⅲ 販売費及び一般管理費	141,020	144,242
営業利益	41,239	53,044
Ⅳ 営業外収益	2,385	2,634
Ⅴ 営業外費用	5,001	19,782
経常利益	38,624	35,896
Ⅵ 特別利益	498	—
Ⅶ 特別損失	—	—
税引前中間（当期）純利益	39,122	35,896
法人税、住民税及び事業税	3,763	3,879
中間（当期）純利益	35,358	32,017

キャッシュフロー計算書

(単位:千円)

科目	当中間期 自 2006年4月 1日 至 2006年9月30日	〈参考〉前期 自 2005年9月 1日 至 2006年3月31日
営業活動によるキャッシュフロー	△644,742	△232,097
投資活動によるキャッシュフロー	△56,951	5,094
財務活動によるキャッシュフロー	721,217	829,088
現金及び現金同等物の増減額	19,523	602,084
現金及び現金同等物の期首残高	911,280	309,195
現金及び現金同等物の中間期末残高	930,804	911,280

※前事業年度は、決算期変更に伴う7ヶ月変則決算のため、前中間会計期間の実績は記載しておりません

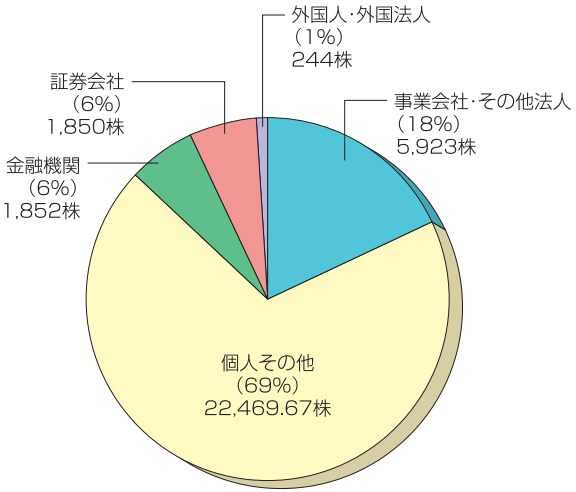
株式等の概況 （2006年9月末現在）

・当社が発行する株式の総数…… 85,000株
・発行済株式の総数 …… 32,338.67株
・株主数……2,072名

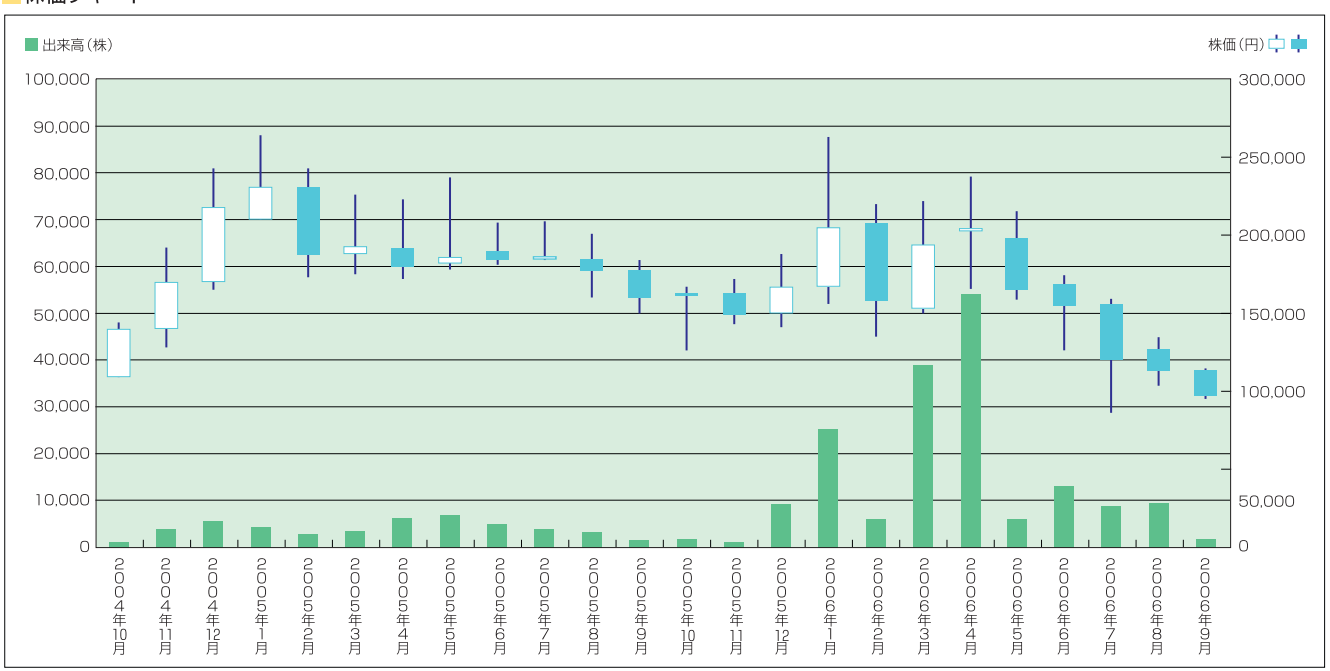
大株主の状況（上位7名）

氏名または名称	当社への出資状況	
	持ち株数（株）	出資比率（%）
川分陽二	2,802	8.7
関西サービス株式会社	1,800	5.6
今井和夫	1,377	4.3
小川忠久	1,097	3.4
金田泰明	1,072	3.3
藍澤證券株式会社	1,050	3.2
大阪証券金融株式会社	1,047	3.2

所有者別株式分布状況



株価チャート



会 社 の 概 要 （2006年9月末現在）

商　　号　フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
設　　立　1998年9月11日
資 本 金　18億8,671万円
従業員数　53名
事 業 所　本　　社

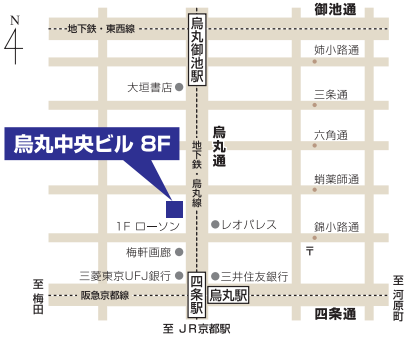
【住　　所】〒604-8152
京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町（てあらいみずちょう）659番地
烏丸中央ビル8階

［阪急（京都線）烏丸駅22番出口徒歩2分
市営地下鉄（烏丸線）四条駅22番出口徒歩2分］

【電話番号】

管理本部　TEL. 075-257-2511
FAX. 075-211-1601

投資本部・事業推進本部　TEL. 075-257-6656
FAX. 075-211-6965



東 京 支 店　〒100-0006
東京都千代田区有楽町1丁目7番1号　有楽町電気ビル　北館8階
Tel. 03-5288-5010　Fax. 03-5288-9000
※ 2006年9月に移転しました。

岩手事務所　〒020-0022
岩手県盛岡市大通3丁目2番8号　岩手県金属工業会館6階
Tel. 019-606-3558　Fax. 019-606-3568

山形事務所　〒990-0034
山形県山形市東原町3丁目10番10号　国井ビル203号
Tel. 023-615-0235　Fax. 023-615-0236

愛媛事務所　〒790-0001
愛媛県松山市一番町1丁目15番2号　松山一番町ビル6階
Tel. 089-915-3677　Fax. 089-913-2750

金沢事務所　〒920-0031
石川県金沢市広岡1丁目1番18号　伊藤忠金沢ビル8階
Tel. 076-264-9311　Fax. 076-264-9312
※ 2006年8月に移転しました。

三重事務所　〒514-0006
三重県津市広明町349番地の1　いけだビル5階D号
Tel. 059-213-8912　Fax. 059-229-5112

神戸事務所　〒650-0044
兵庫県神戸市中央区東川崎町1丁目8番4号
神戸市産業振興センター8階
Tel. 070-5656-9604　Fax. 078-360-5677

浜松事務所　〒430-0946
静岡県浜松市元城町216番18号　浜松大同生命ビル7階
Tel. 053-459-0390　Fax. 053-452-6812

取締役および監査役 （2006年9月現在）

代表取締役社長	川分陽二	専務取締役	大橋克己	常務取締役	木村美都
常務取締役	城下悦夫	取締役	中山　淳	取締役	今庄啓二
取締役	金田泰明	取締役	井村博司	常勤監査役	岩坪安浩
監査役	岡部陽二	監査役	小川忠久	監査役	烏野伊蔵

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会　3月31日 剰余金の配当　期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 （連絡先・送付先）	〒541−8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 電話　0120−094−777（フリーダイヤル）
同取次所	三菱UFJ信託銀行　全国本支店 野村證券株式会社　全国本支店
公告方法	電子公告 当社ホームページ（http://www.fvc.co.jp/）にて掲載
証券コード	8462

※株式関係のお手続用紙のご請求は、以下の株主名簿管理人の電話でも24時間承っております。
電話（通話料無料）0120-684-479

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
〒604-8152　京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地　烏丸中央ビル8階
TEL:075−257−2511　FAX:075−211−1601
http://www.fvc.co.jp/　E-mail:fvc-kyoto@fvc.co.jp